



いきいき和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

がんになっても いきいきと!

97 コロナワクチンについて

す。これが自然免疫です。これまでの感染症は、自然免疫で収束してきました。ワクチンがない頃の収束の仕方です。しかし、感染してできない免疫は、感染防御が7割程度と弱いのです。それに対して、今回のコロナのワクチンは95%の感染制御率です。そんな強力な免疫を作るワクチンを7割以上の人が接種したために、激減したのでしょう。さらに日本では、みんなマスクをして自粛を続けています。これが日本の急激な感染減少の理由だと思えます。

さて、年末までに第6波は来るのでしょうか？ 第5波はデルタ株だったので感染拡大は随分早かったですね。一番早かったときで1週間に2倍でした。それでは、今から増え始めるでしょうか？

年末までは6週間。2の6乗は64倍。1週間で2倍だとすると、全国で現在の感染が100人程度なので、年末には新規感染が毎日5、6千人程度かと思われます。高齢者施設、病気で免疫の低下している人は感染に気を付けないといけませんね。ただワクチンを打ちたくなくて感染した人は仕方がないです。ゴールデンウィークに私は本に書きましたが、感染した人の後遺症がようやく問題になってきています。脱毛もその一つ、かなり高率です。感染者の4人に1人程度で、6割が戻らなかった、また若い人に脱毛が多かったですと報告されています。考え方は人それぞれかと思いますが、ワクチンを打つ

皆さんいかがお過ごしですか？ まだ、晴れると暖かい安定したいい時候です。しっかりと運動して冬に備えましょうね。前は私が1月から和歌山医大の臨床研究センター、副センター長になる報告をしました。

ところで、和歌山は随分前からですが、神戸でも急にコロナがいなくなりましたね。なぜでしょう？ 今回もまたコロナの話、急に減少したことを後遺症について話したいと思います。

感染は一気に拡大し、7割を超えると急に広がらなくなりますが、免疫を持った人が一定数以上になると感染が収まりま

のと一生かつらをつけるのでは、僕はワクチンを選びたいと思います。妊娠しにくくなるというデマもはやっていたようですが、普通に考えると、いろんな臓器障害を起こした場合には妊娠にも影響するので、ワクチンを受けて重症化しない方が妊娠には影響が少ないと思われます。学童は別として、身を守るためにはワクチンを勧めたいですね。以上、またコロナの話題でした。これからもよろしくお願いたします。